對日に狂ふ濠洲の生態

〃白手王國〃と呼ばれて敗色濃い英國がいまだに一途にその命脈を持む濠洲、――ここにも歐亞に迫るユニオンジャックの毒々しい様相が傳へられて對日感情は極度に惡化し佛印進駐の皇軍部隊を遙かに遠め幻影に戦くその國は、新嘉坡の對日戦備に呼應して最近軍備を擴張し前大戦における二倍の兵員七十萬餘を備へた、しかも凍結令の公布とともに暗に經濟壓迫態勢をほのめかして邦人の生活を脅かし、價値の極に達した公使館では居留民に對して引揚を勸告、去る九月十二日神戸入港鹿島丸で九十四名が歸國したが、そのうち昨年十二月メルボルン三井物産支店詰となりこのほど京城支店に轉勤を命ぜられて、一ケ年の濠洲生活に苦しい想ひ出を殘しながら歸つて來た羽田吉信氏を十日午後訪れて〃白日に狂ふ南國〃の様態を訊く【寫眞＝羽田氏と濠洲の大都シドニーの港】

日本恐るべし

銀幕に叫ぶ英國ニュース映畫に狼狽する白人＝三井物産羽田氏談＝

夜はぐつと氣溫がおちた、寒くてたまらない――といふほどではなかつたが、鼻詰の汁が冷氣とゝもに凝結して背中にこは張るのが不愉快だつた、何時も感じるそれが濠洲の氣候なのかも知れない、私は遠い摩天樓を夜空に仰ぎながら虚ろな氣持で裏通りを歩いた、故國から離れて四千哩、――ふときらめく星の一點々々に郷愁を覺えた、私は思はず〃おーい〃と叫んだ、異郷の夜の街に反響する日本語だつた、しみじみ餘韻をなつかしんで、私はまた想ひにふけつたさまざまな感傷の中に、私の心は一つの興奮をとらへ、それが故國をしのぶよすがと變つて行くのだつた、戰爭を現實に考へ得られるほど私の今日までの海外生活は遊離してはゐなかつた、エストランゼとしての氣強さが沁み込んでゐたのかも知れない、私はたしかに自分と自分の周圍だけに從つてゐたのである

それが、私は今宵映畫を觀た、そして銀幕の映像はロマンチストばかりに訴へてゐるのではないことを深く知らされたのである『日本恐るべし』フイルムは大寫しになつてさう叫んだのだ、日本と濠洲はかつての

距離 を二千哩に短縮された、皇軍の佛印進駐をとりあげて英國製のニュース映畫は、觀衆の對日警戒を煽り立てるのである、うづくやうな感情の逆流が暗い場内に充ちて白い顏の群れが銀幕から更に反射して私の姿にかへつて來るやうな錯覺に襲はれるのだ、これほどまで日本を敵視する濠洲の豹變ぶり、そこに日本の實力をおそれる白人の小膽さが思はれて、私はむしろ小氣味よいくらゐだつた、さういへば彼らが私たちを呼んでゐる『イネスト・フレンド』といふ言葉もなかなかうがつてゐる、日本は獨逸と仲がよい、だから濠洲の敵だといふのである、別にそれが當面の目標なのではなく濠洲人がどんなに無思力だからといつて、極東に嚴然たる國體を示す日本を相手にするほど無分別ではないはずだ

それは一つの人氣取り政策である濠洲の政治大系を分流する資本派と勞働派、それに操られて民衆は常に日本を遠く見てゐるのであるメンジス、ファッテンと資本系の首相がつづいたときは大して露骨に見えなかつた對日感情が、勞働黨のカーテンが印綬を帶びてからは俄然表面化し、勞働者層の底流に排日思想がうかび邦人に對する反感は昂まつて行つた、それは七月廿六日の凍結令公布となつて現はれ、邦人の生活は完全にどん詰りに陷つてしまつたのだ、その日は恰度土曜日で事前にそのことを知つた私たちは銀行預金の引出しを急いだが遂に間に合はず

今後 は政府の許可がなければ引出し一切不能といふつめたい返事だつた、凍結令によつて私たちの受けた使用金額といふものは一週間僅か九磅、邦貨に換算すれば百圓近い金子ではあつても物價高のメルボンではとても生活出來得る額ではない、手持商品の持ち出しも不可能となつて、私たちの仕事は『眞綿で首』の締出しを喰つてしまつたのだ

八月になつて事態は益々險惡となり、公使館からしばしば引揚げの勸告を受けるやうになつてからは、私たちも決意を固めなければならなくなり、殘務整理として三井支店が五人、三菱が三人、その他重要な仕事を持つ邦人廿餘人をのこしてメルボルンを出發したのは八月の十日、ニュー・サス・ウエール平原を廣軌で走り、オルバリーで狭軌に乘りかへてビクトリヤ州の草原を突き拔け七百哩の砂丘を越えてシドニーに到着したのだつたシドニーは自然と人工の調和に築かれた世界最美の港ではあるが、私たちの觸れるもの、聞くものゝすべてが面白くなく濠洲兵が夜に日に新嘉坡へ送られて行く狂奔の姿は、美しいはずのシドニー港を一層暗く醜悪なものに見せるのである、こゝでも私はロンドン爆撃の映畫を見た、故國の破壞される姿を平然と

畫面 に見る英國人の心理は到底私たち日本人には判らなかつたが刑な眼から見れば、さうして悲惨な母國の末路を眺めて自ら戰爭意識を煽り立てようとする健氣さだけは何か悲痛な雄々しさを汲み取つてやることが出來るのだ

私はシドニーの邦人から濠洲の特産である羊毛が軍需毛布となつて續々印度へ輸送されてゐることを聞いた、ストライキが盛んにおこつて物價値上げ運動が民衆の苦惱を代表するやうに叫ばれてゐるのも聞いた、殺に乘じる英國の搾取政策がこゝにもまた魔手をのぞかせたのだ、私はまた判らなくなつた、濠洲の實體といふものは果して何であるのか、それはまるでスフインクスだ――濠洲の知識階は日本と日本人をよく理解してゐる日本語の研究なども隨分さかんである、しかし、勞働者層は極端に日本を異敵視してゐる不氣味なほど底嗚りを見せてゐるのだ、その對日感情を煽るのは政治家であり、政治家は知識層と

連關 なしには存在しない――その複雜極まるクロスワードの疑問は一體何處で解かれるのか、英國人も判らないだらうし、濠洲人また然り、まして私たちにはとても推測出來るものではないそして、彼らは盲目的に信じてゐるのである

英國は必ず勝つ――と、獨逸に屆を持つ日本はいまにえらい目に逢ふぞ――と、自分の足許が崩れてゐるのも氣づかないで白日夢に溺れ切つてゐるのであるⅤ字運動が英京ロンドンから起つて反樞軸國に飛火したのもさうした儚い夢をせめてでもらしい理窟にこぢつけてみたかつたに過ぎない――シドニーにクイン・メリー號が入港して來たときには、英國人の誰もが幻滅の悲哀を感じたに違ひなかつたのだ、七つの海を制覇した時代の英國はすでに昔話である、いまは世界最大の

豪華 船がその七つの海に身の置き所もなく、シドニーから新嘉坡へ、またシドニーへ轉々と波枕をかへてゐる始末なのだ―私たちが鹿島丸でシドニーを發つたのは八月の十五日だつた、豫定よりも二日おくれて―といふのは、船舶の不足で海賊根性を出した英國が一萬噸の巨船鹿島丸に眼をつけたのか何とかかんとか文句をつけて水を補給して呉れず、乘客の檢査ものびのびとなつて、結局公使館の交渉でやつと出港出來たのだつた、出帆は夜の七時を過ぎた、居殘り邦人が夕闇の機壁にならんで打ち振る日章旗が眼にしみて『ばんざい』『ばんざい』の聲がまるで最後の絆を斷つやうに流れた、故國に歸るものと飽きまで南海の果てに踏み止まるものと――たゞ一筋のテープが切れたあとは、どすぐろい海流の澱みが撥く絲漠にやがついて殘された

寒い思ひはさせぬ

二割増産で十一月には配給 〃冬の陣〃に暖い太鼓判

秋風も冷くなつて火鉢や爐火が戀しくなりかけた昨今、府内の家庭では今年は炭、薪が豐富に廻るだらうか、ことに炭など統制日は思ふやうに買へないので色々と取越苦勞を懷いてゐるが、薪炭配給の總元締たる總督府林政課に冬の備へを訊いて見ると〃絶對寒い思ひはさせません〃と心强い太鼓判を押しながら寒くない冬の對策に全力をあげてゐる、薪炭は既にこの春の各道山林課長會議で增產計畫を樹て昨年より二割增の炭九百萬俵、薪十四億六千萬貫を各道に割當てた、そのうち京城で消費するのは炭が八十萬俵、薪が八千萬貫ですでに京城へ來ることになつてゐる、江原道の炭が山元で四十萬俵、いつ何時でも京城府民のお役に立たうと待機してゐるし、薪も忠北、全南北三道からどんどん入荷してゐる、その上萬一この冬も寒く過ぎることがあつてはならぬと林政課員が各道へ出張して山元を督勵してゐるから消費期に入る十一月には各家庭へは豐富に配給されることになつてゐる、右について十日池林政課長は語る　府民に迷惑をかけないやうに四月から二割增產計畫を樹てて圓滑に行つてゐるから寒い冬を過させるやうな心配は絶對にありません、それに二三日前から課員が山元督勵に廻つてゐますし課員の現地報告によると計畫通り增產が出來てゐると知らせがあつたから大丈夫です

防訓の手荷物　赤帽がお斷り【龍山支局電話】來る十二日から十日間に亘り行はれる防空訓練下の下關驛では燈火管制のため赤帽が夜間の手荷物を一切取扱はぬことになつた

靖國の社に新たに護國の神として合祀されるわが子、わが夫の英靈に晴れて對面する半島の百十週家族の人々はいよいよ十二日午前十一時京城驛の特別列車で上京するが、光榮の家族の人々は夢に見たうれしい上京を明日に控へこみ上げる感激を押へながら旅行の仕度に忙殺されてゐる、遺家族の人々に靖國神社參拜の感激を聽く

あゝ胸が鳴る社頭對面

〃伜は軍人が好きだつた〃

京城府漢江通一ノ三ノ四故櫻井勇中尉母堂　ミカさん談

中尉の母堂ミカさんと未亡人トミさんは感激の面持にて語る　お招きに與り私とお母さんと二人でお參りさせて貰ひます、私は昨年許されて女子師範に入り今年四月卒業後にもお參り致しました、今度で一年に二度も參拜させて戴くことになるのでこんな有難いことはないと思つてゐます　故櫻井勇中尉未亡人トミさんはほんたうに有難いことだと語り、お母さんのミカさんも傍らから語るのである【寫眞＝ミカさん】

伜は兵隊さんが大變すきだつたので靖國のお社に祀られたことはさぞ本望以上でせう、子供の時に一、二度病氣したきりで元氣な子でしたよ、事變勃發直後應召され昭和十四年五月一日山西省許家店の戰闘で負傷したのが因で戰死したのです、今度靖國神社に參拜出來るのは全く日本人であればこそと有難く思つてゐます

郷愁の秋祭り

とこんと、とん、とん、とん…ふる郷からの南風に乘つてか秋祭りは南から來る、とこんと、とん、とん、とん懷しい太鼓を響かせてあの秋祭りが京城にもはや川向ふまで來た　とこんと、とこんとん　神明神祠の太鼓が鳴る、川向ふの永登浦にある神明神祠は九日宵祭り、十日朝十時半から京城神社の神輿を迎へて全愛國班員の〃武運長久〃祈願が嚴かに行はれた　後は子供の神輿を擔いだ曾明、永彰兩國民學校生徒五十名が日の丸の向う鉢卷も甲斐々々しく、紺の法被に豆絞りの帶を締め〃負けらぬ〃いなせ〃氣取〃で金、銀、錦の神輿を練る、永登浦國民學校兒童五十名の應援隊が待ち遠しげに交代を待つてゐる

今年の祭りは僕達の獨り舞台だ、堂山町から北部へかけて永登浦の銀座通を練ること一方境内の土俵では奉納相撲が勝負を擧げる、六十九歲の大串老がはたちの若者を取つて投げたり飛入り番狂はせの續出にわア、わア…と續く土俵は前線に劣らぬばかり、肉彈相搏ち意氣衝天、歡聲が揚れ、七五三飾が風になびいて秋祭は昔ながら愛國風景【寫眞＝神明神祠の神輿擔ぎ】

永登浦神明神祠祭

〃幼子も對面さす〃

タイピストとして生きぬく　松本上等兵未亡人談

國の妻松本ふみ枝さん(二〇)は遺兒菊子ちゃん(三ツ)を膝にして京城初音町二三三の自宅で愼しく語る【寫眞＝ふみ枝さん】　夫、松本繁上等兵を國に捧げた靖

身に餘る光榮です、東京へは女學校時代の修學旅行に行きましたので、これが二度目といふことになります、けれど今度の旅行は幼い菊子を父に會はせるといふ重いつとめを持つてをります、六年前に見物したあの莊嚴な靖國の御社に亡き夫が祀られてゐると思ふと感慨無量です

故繁上等兵は昭和十三年四月十二日北支山西で壯烈な戰死を遂げた金鵄功七の勇士で、未亡人ふみ枝さんは熊谷高女の出身、現在は本府に邦文タイピストとして健氣の鑑とされてゐる

〃長男が病氣なのが殘念〃

故有江好春大尉未亡人　榮子さん談

京城通義町三四故大尉有江好春氏未亡人榮子さん(三〇)は母堂マセさん(三〇)と同道することになつた、參拜感激を語るのだつた【寫眞＝榮子さん】

お國のため名譽の戰死を遂げたとが一門のこの上ない譽だと存じますのに今度は有難き思召により靖國神社に祀つて戴けるなんて……たゞたゞ皇恩の有難さに感泣いたしてをります、故人の遺志を繼ぐ長男弘行は是非連れて行き父の靈と對面をさせ、立派に成人してお國のため捧げますと誓ひたて安心させるつもりでしたのに急に病氣で行けなくなつたのが殘念でございます

身に餘る光榮

故申英浩通譯官兒　弼浩さん談

半島出身として無上の光榮に浴した京城仁寺町二六故通譯申英浩氏(三一)の遺兒產婦人科醫申弼浩氏(二七)は晴れの社頭對面を前に皇恩に感激しながら感慨を語つた【寫眞＝弼浩さん】

お國のため名譽の戰死を遂げただけでもこの上ない光榮であるのに靖國の神と祀られるなど身に餘る光榮であります、聖恩の有難さにたゞ感泣いたしてをります、英浩には長女富美(七)がをりますが靖國の神殿で弟の靈に逢つたら……あれの武勳を褒めてやり、私も職場を通じてお國のため滅私御奉公を誓ひ安心させるつもりです、教訓上からも靖國神社を參拜させたかつたのですのに…

血と汗の〃豐作〃を兩將軍へ捧ぐ

鐵嶺から鍬の半島人

寸土をも耕すこと、鍬一本も大地に刺すことが許されず飢餓に追はれた張學良軍閥時代の血の滲む辛苦が滿洲事變直後南、板垣兩將軍等の厚い庇護によつて救はれ今は立派な模範農村として起ち上り樂土建設に勵い一役を果させて貰へるのだ…と感謝の誠を捧げようと稔りの秋の新穀を抱いて九日遙々入城した、その昔入植の半島人開拓民奉天省鐵嶺縣安全農村農務契聯合會長松山勝、满原耕一理事ほか代表五名は懷しの一夜を鄕土朝鮮に明かし十日午前九時總督府に南總督を、同十一時には同じく關東軍參謀長だつた板垣朝鮮軍司令官の許を訪ね感謝の淚と共に『どうか吾々の血と汗の努力になつた一粒の新穀です、お召上り下さい』と白木造りの箱に納めた一斗五升のお米を贈つた

これは北滿の鮮農達が滿洲事變直後數次に亘る匪賊の襲擊と剩へ水害の惨事に南滿洲に安全地帶を求めて鐵道沿線に南下し續けたもので、その數ざつと三萬人、極度に疲弊し住むに家なく食ふにまたなき從等であつた、之を見た時の南軍司令官、板垣參謀長は奉天省鐵嶺縣に來農收容所を設け昭和七年春には三百八十二戶二千餘名を入植させた、その結果現在では一戶當り二町四反の建設費六百廿圓もあと二年で償還出來るやうになり、九百廿五町歩の全水田面積からは年三萬石のお米が穫れるやうになりこの喜びを報告する麗しい眞心の現れだ、板垣將軍はこの厚い心の贈り物に感動して

「私は諸子の御好意を有難くうける、聞けば皆は粒々辛苦して眞の皇國臣民として雄々しく起ち上つてゐる姿を悦び、心から嬉しく思ふ、どうか立派に滿洲の大地を開拓して興亞の大業に邁進して下さい」と熱意をこめて謝意と激勵の辭を贈つた、一行はこの力强い言葉に感激の淚を眼にしたが、满原耕一理事は語る

事變前までは私共は一寸の土地をもち、一本の針すらも大地に刺すことが出來ませんでした、肉親の死骸すらも埋葬することが許されなかつたのです、それが今では南、板垣兩閣下の厚い御盡力で鐵嶺安全農村が設立され立派な開拓農民として生活して行けるやうになりました、當時は毎日四十名位の兵隊さん達が私達を護つて下さいました、今日では私達の土地も墓もあります、子供に至るまで皇恩の無湯と南、板垣兩將軍の名前を忘れることが出來ないのです、あと三年も致しましたら吾々の手で愛國機一台獻納が出來ることと存じます、今回は私達が一人立ち出來た喜びとお禮のしるしにかうして參つたものですなほ午後一時からは朝鮮神宮に神饌米を奉納した

★航空日記念繪本★ 今度の航空日を記念して、講談社の繪本『空ノマモリ』が發賣された。少國民の空への關心を强める苦心の編輯である。

持論〃蓑笠運動〃自ら實踐

天晴れ、百姓知事大野さん

◇…蓑笠に國民服、長靴はちよつと不釣合だが着こなしは滿點、颯爽と氣どつたところはさすがに百姓知事と綽名される大野さんだ

◇…國民皆勞の秋だ、殊に百姓は[illegible]て野良を休んではいけない、不振な咸北農業を建直すためには農村からこの晴耕雨休の弊習を一掃しなければならぬ――といふ大野知事の持論は遂に婦人のモンペ、農村の蓑笠普及運動となつて展開されたのである

◇…去る六日、咸北道民道場で開催中の農村第一線指導者たる邑面職員の農事講習會閉講式に臨んだ大野さん……、受講者七十六名が知事さんの意を體して作つた手製の蓑笠を見て大滿悅自らその一着を着用に及んだのがこれである【羅南電話】

文展洋畫入選發表

【東京電話】文展第二部(洋畫)の入選者發表は十日午後七時上野府美術館で行はれた、時局下繪畫運輸方面の影響を受けてか搬入總點數は前回と比べてぐつと少く一千六百二十點、入選數は二百三十點、うち新入選は七十九點であるテーマは期待されたほど時局色を帶びたものは多くないが、一般に眞劍味があふれ、裸體畫は少く、それも頗り成績がよいのでなかつた、水彩畫には相當期待がかけられてゐたが、これは期待外れで審査員たちを失望させてゐる

入選の變りだねとしては東京狛江學校生徒大湯省三君の〃老人〃で初入選である、また夫婦揃つて入選したお目出度い組が二つもあるまた兄さんは妹を描き、妹はお友達を描いて兄妹そろつて仲よく入選した柳瀬俊雄君と同舍生さんなどがある

李鳳商(京城府西岩町山六五ノ二九)根津莊一(京城府明倫町二ノ一八)朴泳善(京城府上往十里七一二二六)金在善(仁川府松坂町一ノ一八)中村至(京城府水標町一八金子方)圖于枝子(京城府岡崎町七四六)

急特題話

☆…京城本町署では十日正午から署衞生主任以下係員總出で新町遊廓街一帶の風紀、衞生施設取締を行つた、組合側でも沖田組合長以下幹部總出でこれら業者を特別に訓練するなど三十二名の業者を……

來島良平氏次女　殖產銀行庶務課長代理來島良平氏次女正子さんは十日午前十一時逝去した、享年十九で、京城第一高女出身の才媛であつた、告別式は十一日午後二時から京城三坂通一三九番地の自宅で執行

けふの天氣

京城地方　曇り雨模様
仁川地方　南東の風　大雨曇りだ　時々雨あり

京城版

今ぞ果さんこの恨
匪賊に父母を討たれた孤兄
志願兵へ血書の願ひ

父母は北滿の曠野で匪賊に討たれました僕をどうか志願兵にして下さい、父母の仇を討ちたいのです、祖國に仇成す匪賊共を銃劍の先に突き差してやりたいのです……と忠孝の一念に燃々たる闘志を現はした血書が十日東大門署に届いた、手紙の主は新設町二三二の漢川富男(二〇)といふ青年、さつそく訪ねてみると血書にある通り幼い妹仁壽さん(一〇)を抱いてたつた二人りの淋しい生活だ、富男君は兩親を失つた悲しみを紛らすため元氣に笑つて應待するがさすがに妹の仁壽ちゃんはお母さんの話に觸れると大粒の涙をポロ〳〵流してしやくり上げる、可憐なこの兄妹の話を綜合するとかうだ【寫眞=富男君と仁壽ちゃん】

二人の父漢川鍾郁氏は忠北堤川邑春田里の出身で、故郷では相當の名士として部落でも指導者としての地位にあつたが昭和十一年富男君が國民學校を卒業するのを待つて父なる人は意を新しい滿洲の曠野に求めて一家をあげて滿洲開拓民として移住したのである、これがやがて滿洲の鬼と化す運命に曝されてゐるとは神ならぬ身の知る由もなく一家は父と母、長兄の忠元君と富男、仁壽の幼い兄妹を加へて五人が大陸への憧れに胸をふくらませて北へ北へ……一家が永住の地を定めた所は北滿の濱江省千振といふ地名の一部落であつた、年は過ぎた、支那事變は益々皇軍の威力を發揮して北滿の空も靜然と動く昭和十四年二月まだ咲かぬ春を前に一家が故郷の雛りに打興じてゐた夜半突如怪しき銃聲と共に兇悪な匪賊の一團がこの部落を襲つて來た遂ひに逃げおくれた父は無慘兇彈に仆れて不歸の客となつた

一家の支柱を失つた悲しみの中に傷いて母は受けた傷が元で一ケ月後に死んだ、家財食料全部を掠奪されたあとの兄弟三人はその日から草に伏し木を食つて北滿の地をさまよつた、かくすること三ケ月幸ひ駐屯の鎌田部隊に救はれて兄はその地から北支山西省〇〇部隊に通譯として職を斡旋されその時漸く十七となつたばかりの富男君と妹の仁壽ちゃんは鎌田部隊長の温い手で懷しい故郷に送り返された僅かばかりの知るべを求めて京城に出た幼い兄妹は今の場所に居を構へて待つこと二年、漸く富男君が適齡に達したので憎つくき國の仇父母の仇を討たんものと志願兵を血書志願したものである、血書の一節に

『至誠一貫斎忠奉公の誠を以て志願兵として恥しくない立派な軍人となります、どうか私を志願兵として採用して下さい』漢川富男とあつた

ヨイコドモ 第一線へ流す聖汗

〝戰地で一生懸命働いてゐる兵隊さんに上げて下さい〟……と眞心をこめた慰問袋を持つて十日午後五時ごろ相次いで本社を訪れた銃後のヨイコドモ達……その一……〝これは始政記念日を記念して高等科二年生全部がお小遣を割めて作製したものです〟と德壽國民學校高等科二年代表齋藤千代子(一六)、長谷川富子(一五)、新城貞姫(一五)、木下利子(一五)さん等の四名が添附方を寄託感激させた、その二……〝これは私達全部で廢品を回收して得たお金で作つたものです〟と京城昌信國民學校一同を代表して同校六年生木村仁順さん(一三)外七名が慰問袋十個を胸に抱いて同じく本社を訪ね依託した

張切る廢品回收

西部第七區町會では二日の區長會議の際毎月十日を町內愛國班の廢品回收日と定め、死藏品更生に全力を擧げてゐるが昨十日に回收した分だけでもリヤカー三台となり町會事務所へ持ち込んだ

肉彈相搏つ
永登浦の土俵開き

聖戰下、簡素敬虔に執行された永登浦神明神社秋祭りの十日を期し境內で土俵開きが盛大に行はれたこれは時局柄自粛は勿論だが年一回のお祭りではあり、體位向上の叫ばれてゐる折柄、ひとつ盛大に行はうとの大塚總代長の肝入りが實を結んだもので、先づ勸進元に南部町會がなり小松山親方が取締行司として采配をふり四本柱には泉屋、河野、山下、森本四氏が選ばれて着席、東軍大關大串山(三六)西軍大關大神山が土俵に入り四股を踏んで式を了へ直ちに兩大關の取組みで龍虎相搏つの熱戰は神域に木魂し午後六時幕をおろしたがこの土俵は永久に保存し毎日參拜者の素人相撲を奨勵することになつた【寫眞=土俵入りと肉彈相搏つ熱戰】

德壽商視閲式

西小門德壽商業學校では十一日午後五時半から南大門國民校庭で京畿道兵事課增田少佐の視閲式を擧行

廿五萬二千人
ラジオ聽取者激增

世界の動きを耳からお知らせる京城中央放送局の聽取者は現在廿五萬二千人を突破してゐる、これを去年の今頃に比較すれば約五萬四千といふ大差をなしてをり、なほ最近の增加人數は毎週毎に一千五百餘名に達してゐる

半島の育英に盡す廿年
小田村さん退鮮

東星商業學校教務主任小田村利彦さんは今回一身上の都合で在勤二十年の同校を辭し渡滿することになり十日〝のぞみ〟で京城を出發氏は大正十一年長崎高等商業を卒業後朝鮮に渡り名もない私立乙種昭義商業學校に奉職することになつた、當時義俠から二十五で、自分より年上の生徒を相手に氏は校長以上の生徒のため涙かされたことも數多いことだつた、しかし氏の強い熱意は微動だもしなかつた、その後南大門商業學校となり昭和に昇格してから更に飛躍、同窓業者は何か事ることが起れば小田村先生ならと氏を訪問するほどになつた、同校が昭和三年東星商業に名義變更大擴張を見たのも勿論同氏の熱意によるところ多く今回の轉出は一般から痛く惜まれてゐる氏は目をしばたゝいて左の如く語る

いや夢のやうです、朝鮮も凡ゆるものがよくなりましたよ、勿論學校教育も旺盛になつた、このやうに教育熱が昂まつて來てゐるからには私の願ひもある程度かなへたものです、これからまた新天地開拓の氣持で滿洲へ行つてうんと頑張ります、卒業生たちとわかれるのはつらいですな

運・動・會・だ・よ・り

◇同德女學校では九日午前十時から蠶瀨町鬼練地で秋季大運動會を擧行

◇乾德家政女學校では九日午前九時から同校庭で校長石原健次郎氏の壽壽の祝と併せて第二回秋季大運動會を催す

◇杏村町片倉製糸會社では五百名の男女職工の慰安として十日社內運動會を開催した

◇貞信女學校の秋季運動會は十一日午前十時から同校庭で開催

お米は豐作あたし達は元氣
クレオン畫も添へて
可憐鄕里から慰問文

中田中佐と故鄕の子供

中、南、北支を轉戰機械化部隊長として勇名を馳せた中部鮮鐵道部員中田吉藏中佐の許へ去る九日鄕里國崎からクレオンの風景畫を添へ四國神八町分教場代表田俊子の名で可憐な一通の慰問文が舞ひ込んだ【寫眞=中田中佐】この文面によると

中田さん元氣ですか、私達も元氣で通學してゐますから御安心下さい、中田さんの家の皆様も元氣です、町外の稻も大分大きくなりました、今年は豐年で色い波が打つてゐます、みんな兵隊さんのお蔭です、大陸で活躍されてゐる兵隊さんのことを偲んで涙がこぼれます、私たちは毎日神樣に武運長久を祈つてゐます、日本はいま重大な時機に立つてゐることを先生から教はりました、どうか元氣で御國のためお働き下さい

この熱情こもる慰問文に對して中田中佐は直ちに次の如き懇篤の返事を贈つた

俊ちゃん、慰問文有難う、家の模樣など細々と書いてあつて大變なつかしく思ひました、私は俊ちゃんをよく覺えてゐませんが若しかしたら私の三男坊同男の友達ではないでせうか、稔りの秋畑を眞赤にして飛び廻つてゐる姿が偲ばれます、クレオン畫にある柿の木の向ふの山や家などから若しかしたら舞長場附近ではないかと思ひます、いま皇軍は蒙疆北支から中南支を經て佛印に到る四千六百キロの長い戰線に亘つてお天子さまの命令に從つて東亞のため身を捧げて働いてゐます、どうか皆さんも身を大切にして立派な第二の國民になつて下さい

その名も總力隊
防空に第一高女起つ

第一高女ではこの程五年生二百名の特設防護團員を以て獻身的な町の防空陣へも協力すべく北校長も自ら隊長となり〝學校總力隊〟を組織、十日午前十一時から同校庭でその結成式を擧行した、この總力隊は全校生千餘名を編入して大、中、小隊に分れ、重點的訓練を施し各隊の連絡協調を緊密にして十二日から行はれる全國一齊防空訓練には校內は勿論、町の防護團にも參加協力すべく目下隊員千餘名は實戰さながらの猛訓練を行つてゐる

第一高女の聖汗行

貞信町第一高女では四年生二百餘名が二班に分れて十一、二兩日扶餘神宮に向ひ勤勞作業を行ふ

遠足會

第一高女では近校長を先頭に全校生八百餘名は十一日東九陵(清凉里外)の長距離遠足を行ふ

母子寮の栗拾ひ

瑞麟町愛婦本部母子寮にゐる遺家族卅五名は去る銃後奉公強調週間の一日を愛婦京畿道支部と揚州分會に招かれ議政府にて栗拾ひを行つた、この日、日本晴れのよい天氣に惠まれて一同は午前八時出發、議政府驛から愛婦會員に案内されて目的地に到着、一家族で三升以上ものが、があり大喜びで歸途についた【寫眞=栗拾ひ】

班長さんの防訓

西部第六區町會では町內の愛國班長九十一名を集め町聯盟理事長、指導員の指導の下に十日午後一時から同五時まで防空訓練を行つた

女子技藝移轉

京城女子技藝では今月末敦岩町の新校舎に移ることになり目下同校生六百餘名が總動員で教材道具の準備に大童になつてゐる

郵便事務打合

西大門郵便局では十一日午後五時から竹添町集會所で事務打合せをする

寄附

新堂町一八一權山清治さんはさる五日罹災にうけた同町の土幕民に溫かい手を差伸べて廿圓を八日東大門署に寄託した

忌明獻金

本町四丁目一〇六眞島三郎氏方三谷松枝さんは九日本町署を訪れ亡父の忌明獻金として廿圓を寄託した

防訓打合會

西部方面警務部では九日午後二時管內の現示班を西部消防署に集め、防空訓練に關する打合せをした

十字路

◇……去る九月廿七日に盛大な葬儀が行はれた新設町三〇九豊山瑞龍は北支河北省で陸軍伍長の任務中敵の負傷の中で戰死した勇士だ

◇……その次弟翊三君は志願兵として名譽ある任務を勤めあげて今は龍山陸軍倉庫に雇員として再起奉公を誓つてゐる

◇……またその長兄も現在北支方面の〇〇部隊に通譯として活躍中だ

◇……半島の家から同時に三人の子を御國の役に捧げてゐるのは一寸めづらしいがその譽れの子を持つ父の名は長榮さんといふ六十の老爺である

ラジオ 十一日(土)

朝

六・二〇ニュース▲六・三〇(東)レコード『曉の感謝』大森水洪▲七・〇〇(東)時報(城)宮城遙拝他▲七・〇一(城)ラジオ體操▲七・二〇(東)滿代支那の動搖(四)『辛亥革命と中華民國の成立』鈴木俊▲八・三〇(城)氣象通報▲一〇・〇〇(城)和音アソビ『山ノボリ』東子記念京城公立幼稚園兒▲一〇・二〇(東)『子供の自然觀察について』粉野武夫發表▲一一・〇〇(東)レコード▲一一・三〇『今週の出事』東京市手利國民學校兒童

晝

正午(東)時報(城)默禱他▲〇・〇五(東)宮內吹奏樂『お洒落仔馬』他、小畑益男外▲〇・三〇ニュース▲一・〇〇(大阪)箏曲と地唄『秋の曲』菊塚佐江子外2(廣島)『家庭婦人の道』『合纏治▲二・二〇(城)氣象通報▲二・二五(京城東二)家庭音樂の話『歌劇』金世卿▲二・五五(東)ラジオ體操▲三・三〇ニュース・海上氣象▲三・五〇(東)職業紹介▲五・〇〇(東)朗讀『信長でつばう』川添アナウンサー

夜

六・〇〇(東)うたのおけいこ『母』伊藤武雄▲六・二〇(へ東)シンブン▲六・二五ラジオメモ▲六・三〇(東)話『東亞共榮圈內における經濟の自給策』小日山直登▲六・五五公衆事項、天氣見込▲七・〇〇(東)時報・ニュース▲七・二〇(東)ラジオ國民讀本『日本の進む道』▲七・三〇(東)農家の時間『われらのうた『南方の歌』德山璉▲七・四〇(東)『農機具の取扱ひ方』正村愼三郎▲八・〇〇(東)舞臺中繼『祇園祭禮』東京劇場より中村吉右衞門外▲九・〇〇(東)講談『め組の喧嘩』神田山陽▲九・三〇ニュース(城)氣象通報・天氣見込▲一・〇〇(東)時報(城)今日のニュース

第二

七・〇〇宮城遙拝▲正午(東)時報▲七・二〇演作童話劇『少年の新聞』▲六・四〇コドモ奉仕隊』童心會▲六・四五家庭相談琴川寬▲七・二〇主婦ニュース解説▲七・四〇講演『滅私奉公の道』瑞原鍾麟▲八・〇〇奇談平山秋筒外▲八・二〇歌曲金一順外▲八・五〇唱劇調『春香傳』鐘城姬▲九・一五中等國語講座金原姬

歌はぬ勝利 (26)
田中峯太郎【作】 高本清【畫】

一脈の疑惑(二)

この日の朝飯は、兩親と兄の馬と公子の自分と、四人そろつて食卓についたゞけに、近ごろになく樂しい氣が、公子を、かなりに興奮させた。

——お父さまといつしよなんてとても珍しいわ、すばらしい朝飯だわ。

この大きな悦びだつた。母も、兄も、明るい瞳をしてゐた。

食卓には、海苔の羹、うにの瓶など、これは、お父さまの好物らしく並べられ、冷藏庫に入つてゐたトマトの赤さが、丸々と新鮮さをたゝへて公子の目にしみた。

父は食前にトマトをつまみ、濃い緑茶を一椀しづかな手つきで呑みほした。

——鶴のやうに痩せてらつしやる。

公子は、そのお父さまの、今朝は殊に消痩な感じがする、白麻の衣すがたを、そばから見まもつてゐた。

——社が破産する。

『お父さま、どこへ行つてらしたんですの、三日も』

父は、わかめの入つてゐる香りのいゝお味噌汁に箸をつけてゐたのが、ふと澄ますると、澄みきつてゐる聰明そのものゝやうな白いろを、公子の顏へそゝぎながら、

『なに、北鎌倉へ行つてゐた、それだけのことだ』

和やか調子だつた。

——三日前に、毛利大佐と聴んで、お玄關へ出てらした時の深刻な感じは、今、みじんもない。では、社の破產などといふのも、すつかり善後策がついたのかしら。いそれにしても、北鎌倉は、をかしいわ。東京のどこかを奔走していらした、といふのなら、わかるけれど……

疑はしいことは嫌ひである、公子は、ご飯を頰ばりながら、なほきゝつゞけた。

『誰方かのお別邸でしたの、北鎌倉つて』

父は、さわやかに微笑をふくむと、

『いや、寺へ行つてみたのだよ』

『あら、お寺へ、どうしてですの』

『老師に會つてきたのだ』

『老師つて、お坊さんでせう』

『さうだ、よく知つてゐるね』

『えゝ、禪宗のお坊さんでせう、では、お父さま、坐禪をなすつてらしたの』

『まあそんなところだらう』

默つて聽いてゐた馬が、いつものとほりの明るさで、ニヤ〳〵笑ひだすと、

『この涼しいのに、寺も、かびが生えてゐたでせう、どうですか、坊さまなんて、およそかびくさい人間ぢやないんですか』

皮肉めいたことをいひだしたのを、父は、微笑しつゞけて、

『坊さんを輕んじちや、いけない』

さういつただけだつた、が、この時、しづかに眉をあげた父の表情に、凛然とした氣はひがみなぎつたのを、公子は見のがさなかつた。

そんな不安な暗い影は、お父さまのどこにも見えずに、すつきりと淸らかな、それでゐて温かい深みがあつて、いさぎよさと懷かしさが、そばにゐる公子の胸のなかに、しみ〴〵と湧いてくる、けれども、

——三日の間も、お母さまにさへ知らせずに、どこへいらしてたのかしら。

この疑ひだけは胸の底に、まつはりついてゐた。

それとなくお母さまの顏いろを食事しながら探つてみても、まるでお母さまは、そんなこと氣にもかけてゐない、といつたやうに、

『珍しいもの、メロンも、ございますのよ』

などと、大皿に盛つてゐるトマトを、自分の小皿へ器用に移しながらで移してゐた。

公子は、給仕してゐるミツに、ご飯のおかはりをさし出すと、たまらなくなつて訊きだした。

夕刊 京城日報
夕刊一部 定價金二錢

降幡敏中將轉補 海軍通信學校長に
佐鎭參謀長に山口少將

【東京電話】海軍省では十日附をもつて降幡中將の通信學校長、山口少將の佐世保鎭守府參謀長への轉補を左の如く發令した

海軍省公表(後一時) 本日附左の通り補職發令せらる
海軍中將 降幡敏
補海軍通信學校長
海軍少將 山口儀三朗
補佐世保鎭守府參謀長

滿洲國皇帝陛下 協和會第八回全國聯合協議會に御臨場=空送

滿洲國皇帝陛下御臨場 晴れの開幕
協和會協議會 けふから八日間新京に開催

【新京宇田 特派員發】滿洲國のみが持つ世界に比類なき高度國防國家確立の協議體の精華として全國四千三百萬國民待望の康德八年度協和會全國聯合協議會は、滿洲國皇帝陛下の御臨場を仰ぎ秋晴の十日午前九時から大同大街協和會館に於て開催された、この日會場には名譽顧問關東軍司令官梅津大將を初め張滿洲國務總理大臣、武部總務長官、各部大臣統制(?)…者、協和會中央本部長三宅光治中將以下會務職員全國代表協議員百七十一名大日本興亞同盟常務理事松井中將、大政翼贊會東亞副部長綾川武治氏、國民總力朝鮮聯盟事務局總長川岸文三郎中將、關東州興亞奉公聯盟早川指導部長、華北新民會事務總長喩氏其他國內各機關代表及び一般が起立敬禮して御迎へ申上げるうち 陛下には所定の御座に御着張國務總理は恭しく國本奠定詔書をまた三宅協和會中央本部長は協和會に賜りたる勅語を奉讀を終り 陛下御臨場遊ばされ御名代の御言葉、張會長の訓示、日本、中華民國各機關から祝辭の朗讀を披露し、多年協和會に盡瘁した日系四、鮮系四、滿系五氏を表彰して榮ある開會の式を閉ぢて議事を開始、議長に竹內徳亥氏、副議長加藤盛博氏以下書記長書記を依命、議長の挨拶協議員數の報告、各種委員會設置に委員任命、前年度議決事項處理經過報告、會務報告、三宅本部長より協會運動方針の大綱説明、張國務總理、武部總務長官より國民はその分に應じ又國家の要求に應じ自家の生活を守るべきことを說き新たなる決意の下に大東亞共榮圏の確立に挺進、擧案徹底に敢闘すべく全國民の決意を促すと共に官民一致の總力體制を強化することにより高度國防國家體制の完成に勇往邁進すべきことを要望する施政方針を說明して第一日の日程を終つた、第二日十一日からいよいよ本會議に入り十七日まで續開されるが、上程議案は本會議

一、國本奠定の本義普及徹底に關する件、一、協和會運動の徹底、強化に關する件、一、農產物價に生活必需品適正價格に關する件、一、興農合作社事業振興に關する件、一、興農合作品資金貸付前に資金借款償清化に關する件、一、農村振興商工業者の營進に關する件、一、中小工業者の指導に關する件、一、勞務對策に關する件、一、統制經濟の推進に關する件等提出議案十九件にして今回は會務機構の大改革、會議の成功を遂げる所謂三位一體制が反映されたもの見られ、更に今までに見ない各部大臣が會期中出席して質問に應へるほか、特に國家體制に關する政策樹立方針等の論議にあたるとことは、時局と全國聯合協議會の關心が如何に切實であるかを看取させられるごとく本年度全體の成果に滿洲國の與亞共榮圏の一翼を強化するとともに共榮圏內の各國におよぼす影響も尠からずと多大なる期待が待たれてゐる

街頭は航空兵の氾濫 犇々と迫る戰時色
新嘉坡の對日戰備

【サイゴン特電九日發】當地に達した情報によるとシンガポールはポパム總司令官及びダフ、クーパー無任相指揮の下に愈よ對日戰備強化に拍車をかけ次の如き物々しい戰時色を醸呈してゐる

軍狀 シンガポール駐屯陸軍部隊はイギリス正規兵及び義勇軍、土民兵より成りその數は不明なるも最近盛んに增強しつゝあり、殊に空軍部隊は濠洲方面より續々派遣せられ、今月上旬頃までは大工場が完成連日猛訓練を實施してゐる、外出兵の數量より判斷すると空軍兵に比べて、飛行機の數は十分二乃至十分三程度でカフェー、映畫館等の盛場に之等の空軍兵か氾濫してゐる、最近海軍部隊の移動について當局は記事一切の報道を禁止しその行動は全然不明で、沿岸線は鐵條網を張り廻らし電流を通ずる裝置をなし又長さ二百米幅百米の埠頭倉庫六十棟の中には軍需が山積せられてゐる、これがため從來談論までの交通自由なりし許可證の所持者まで最近交通を禁止した

政狀 新聞論調は 日本の實力を寡少評價し、殊に支那事變のため到底シンガポール攻略の虞れなしと稱してはゐるが軍當局は日夜對日計畫に腐心し、又最近ダフ・クーパー無任所相指揮の下に尨大なる情報機關が設置され香港、上海等と連絡して日本に關する情報蒐めに躍起となつてゐる

長江南北地區掃蕩
蠢敵を誘致擊破

【漢口九日同盟】わが軍の巧妙な誘致戰法に引かゝり隨所で殲滅の憂き目に遭ひつつある揚子江南北地區一帶の敵は性懲りもなく八日またもや荊門東北方二十キロ的家集附近に蠢動を開始したので精鋭大隊、郷、早瀧の各部隊はこれを急襲、敵は死體九十五を遺棄して北方に潰走した、また沙市東南方十八キロの冷河口附近における約五百に對し吉崩、堀浦、關野の各部隊は猛攻の後東西にわたる敵陣一百四十三、その他の戰果を擧げた

けふ善隣の双十節
中華民國改元卅周年の佳き日
京城總領事館の祝賀式

中華民國と改元されて卅周年、双十節の十日京城明治町中華民國總領事館では午前九時半から在城華僑官民代表多數列席のもとに盛大なる双十節の祝賀式を擧行した、輝かしい國民政府の…たる自化を卽つた領事館中…

双十節祝賀式=けさ明治町京城在中華民國總領事館=

日華協力 興亞の決意
范總領事、感想發表

…央大廣間の中央に新生中國を双肩に擔つて起つ汪主席の額を掲げ范總領事を圍み永井京城師團長、黑木海軍大佐、諏訪外事部長、李恒九男爵、松澤專賣局長はじめ重官民五十餘名祝賀の辭を述べ合ひ永井師團長の發聲で中國と中國人のために乾杯、范總領事の發聲で大日本帝國萬歲を奉唱し双十節の佳日を祝して一同記念撮影を行ひ同五十分散會した

愛國の熱情溢るゝ我中國の志士が一致團結し幾多の艱難を克服し遂に革命の義旗を武昌に飜し中華民國と改元に成功致しましたのは恰度卅年前の今月今日で有りました中國革命に就きましては友邦日本の先覺者志士仁人の絕大なる御協力に負ふ處多く有りませんでした、其後星移り幾變の紆餘曲折を經て時局幾變轉致しましたが、今や新中國の太陽に存在たる汪精衞主席が革命の父たる孫總理卽ち國父の理想であり永年主張致しました中日飽迄協力一致して興亞の大業完遂に邁進する事になりましたのは欣快至極に堪へません、汪主席は「中國を愛し、友邦日本を愛し、同時に東亞を愛せよ」と三愛主義を熱烈に提唱鼓吹して居られますが、私共東亞民族は互に敬愛する同胞であり、和樂辛苦を共にする興亞の同志であり、兄弟であると堅く信ずるものであります、此の意義深き双十節に當り三十年前革命の烽火をあげたる壯烈なる同志の意氣を偲んで國父當時より友邦日本の示されたる仁俠と協力を衷心より感謝し、國父遺訓の如く飽迄中日協力興亞の決意を一層固むる次第であります

板垣軍司令官 汪主席に祝電

双十節の十日板垣朝鮮軍司令官は新生中國の汪主席宛左の如き祝電を發した
双十節に當り閣下の御健康を祝し、愈よ國民政府の前途隆昌ならんことを祈る

完勝へ、最大の決戰
ヒ總統、全軍に特別布告

【ベルリン九日同盟】ドイツ政府は九日去る二日の獨軍新攻勢開始に當りヒトラー總統が全軍に對し發した特別布告內容を次ぎの如く發表した
けふこそは今年における最終のしかも最大の決戰が開始さるゝ日である、この戰闘は敵軍に殲滅的打擊を與へ、さらにこれによつて全戰爭の淵源たる英國自身をも潰滅せんとするものである、數週間以內にソ聯の三重要工業地區は完全にわれらの掌握するところとなりドイツは即決的勝利を得るであらう

蔣、國民に泣訴

【上海十日同盟】重慶來電によれば蔣介石は十日の双十節に當り例によつて長文の『全國民に告ぐるの書』を發表、各部門よりする協力に訴へ各自の職責を全うし個人を犧牲にして國家に貢獻すべきである、若しこれが實踐を怠るにおいては戰爭に一頓挫を來すであらうと訴へた

赤軍頑強に抵抗

【ニューヨーク九日同盟】獨當局は九日東部戰線において赤軍に殲滅的打擊を與へたと發表したが、同日ソ聯情報局は獨軍が大部隊の增援を得て引續き進擊してゐることを容認しつゝも、赤軍はこれに對し頑強な抵抗を行ひ獨軍に對し多大の損害を與へてゐると發表した、他方モスコーユーピー電は獨軍の進擊は阻止されたと次の如き前線からの報道を傳へてゐる
赤軍は數において遙かに優れる獨軍に對し果敢な反擊を加へヴイヤジマよりする獨軍の攻擊は擊破され、同時にオリヨールよりハリコフ、モスコー鐵道に沿つてモスコーを衝かんとする獨軍部隊の企圖も阻止された

陸軍兵器學校(上)

…黑鉄帽子に似た重砲彈が無氣味な殺氣を孕んで整然と並んでゐる銃を執る兵がこゝでは銃をハンマーに、鋼に持ちかへ精魂傾けて入念な仕上げ作業を續けてゐる。緻密な機械工作に次いで徹底…手榴の凹凸も見逃さずこの彈彈敵前で不發彈を微塵に吹きあげてくれと祈…とたゆまぬ…
作業成を續ける陸軍兵器學校の兵たちである、白兵戰の華々しい突擊の壯こそなけれ、兵器製備の辛苦は敵の頭上に炸裂するとき初めて 知られるのだ。"鐵"に恐るべき威力の魂を注ぎ込む精兵の辛苦鍛成が、かうした舞台裏で營々と續けられてゐるのだ。

この彈、敵都を木端微塵

緊急食糧對策具體的施設要綱 閣議決定
裏作と二毛作で六百萬石の麥增產
獎勵金二千四百萬圓(第二豫備金)支出

【東京電話】去る廿六日閣議において大綱の決定を見た緊急食糧對策の具體的施設方針は十日の定例閣議に附議正式決定を見たが、これは今秋を期し總計十萬四千町步に上る桑、茶、薄荷、果樹園などを主として麥類の裏作に轉換するほか麥類の二毛作などによつて總計六百萬石の麥增產をはからんとするものでこれに要する獎勵金として總額二千四百五萬一千餘圓の第二豫備金支出が決定したものである、獎勵金の內譯は整理資金として二千廿萬圓、種子購入金として八十二萬圓、勞力補給資金として三百八十二萬圓となつてゐる、具體的施設要綱次の如くである

第一 米穀等主要食糧需給對策
一、增產對策については昭和十七米穀年度に關するものとして
イ、麥の增產については既定計畫に基く休閑地の利用など裏作による增加面積十二萬六千六百町步、その增產數量は既耕地の除草り收穫增加によるもので、合せて四百十二萬四千石のほか今回桑園茶園などの整理ならびに薄荷、煙草など不急作物の作付轉換により作付面積十萬四千百九十八町步、生產高百卅萬石を增加し、これにより本年度麥生產高より合計六百萬石余の增產をなす
ロ、馬鈴薯などの增產については薄荷、花卉茶の畫刈等の整理轉換により馬鈴薯二千三百萬貫、甘藷二千四十五萬貫の生產の增加をなす
以上のため桑園百萬町步、茶園、果樹園各一千町步の整理と作付に要する麥種子の購入、移動勞働による勞力補給などに對する助成に要する經費二千四百五十五萬一千二百十一圓を今回第二豫備金より支出することとなしたり
二、消費規正については
イ、米穀年度における酒造米は五十萬石節減し、節減分は合成酒をもつて充當補塡することに決定せり
ロ、來穀年度における營業用麥油製造用小麥の規正については目下關係官廳間において折衝中なり
ハ、小麥粉中に一定量の澱粉混入使用については一割程度混入せしむ
ニ、米麥等の一般消費規正の强化およびその適正化については目下考究中なり

第二 蛋白及脂肪の給源需給對策
一、水產對策については
(イ)代用燃料の利用、動力漁船の帆船化、內水面漁業及淺海養殖による計畫的增產などをはかるため先般第二豫備金などにより三百四十四萬千七百圓を支出せり
(ロ)水產企業の整理統合については目下立案中なり
二、輸移入對策については
(イ)鷄卵十萬箱を支那より輸入す
(ロ)滿洲大豆及び朝鮮大豆の輸移入については交涉中なり
(ハ)落花生、胡麻、菜種等の油脂原料の輸入については一部實行中なり

第三 非常用食糧對策
米穀については東京、大阪等防空重要都市においては相當數量の分散貯藏をすでに完了し、なほ分散貯藏のため大都市に政府倉庫を建設することに決定し、目下實行中なり、乾パン、乾麵については政府において買上げ貯藏實行中なり、罐詰については第一次計畫として主要都市に相當數量の分散貯藏を完了し、引續き第二次、第三次計畫を實行中なり

農民の協力要望
井野農相談話發表

【東京電話】政府は十日の定例閣議において過般閣議決定を見た緊急食糧對策の具體的施設を附議正式決定したので、井野農相は右に關し左の如き談話を發表した【寫眞=井野農相】
本日閣議で約二千四百萬圓の第二豫備金支出が決定した、これは主として先般閣議決定を見た緊急食糧對策の具體的施設中重要事項に對する經費であり、これによつて六割今回までに確定せる緊急食糧對策の具體的施設が決定したのである、このうち桑園面積の整理および裏作などを行ふことにより麥類の大增產を期してゐるが、これに對して蠶絲當局も農民もよく時局を認識して極力努力して頂きたい、ただ蠶絲農民は大規模な桑園整理にともなひ蠶絲業の將來を悲觀するかも知れぬが、これは決して蠶絲業の縮小を企圖するものではなく、現下の食糧事情よりやむを得ず實行するのであるからその點誤解のないやうに既設桑園の能率增進に努め、今後とも繭の增產に邁進して頂きたい、また消費者も政府は農村に向つて田畑種々の無理を克服しても食糧增產を要望してゐるのであるから、その點よく理解してますく消費規正に協力されたい

"米大統領を樞軸狂人呼ばはり" 中立法改正、議會に教書

【ワシントン九日同盟】ルーズヴェルト大統領が中立法の商船武裝禁止條項撤廢を要請して、九日議會へ送つた教書要旨左の如し
一、ヒトラーはアメリカ人の耐へ忍ぶ能はざる挑戰をわれくに送り來つたが、わがアメリカ國民の賴はかゝる威嚇に屈して追隨はれやうとしてゐる ものではない
一、中立法の若干條項は狂人の無法なる野望の跋扈のもとにおいては全く現實性を有せぬもので、かゝる條項のためにわれわれの權利の積極的防衞を遊休ならしめることは決して許さるべきでない
一、われくは海洋の自由を保護する政策を維持し如何なる外國の海洋制覇をも排擊する、意圖を有する
一、余が今回示唆した中立法の改訂は 武器貸與法と同樣決して宣戰布告を要求するものではない
一、商船武裝は現下の絕對必要事である、商船武裝禁止條項は現行中立法を無力にしつつある他の若干條項よりも特に重要といふわけではないが、わが乘組員および貴重な商品の安全に對する不安にかんがみ余はまづ商船武裝禁止條項の速かなる廢棄を要請するものである
一、今やアメリカはヒトラー工作に陥ることを斷乎として拒むべき時である、余は議會が武器貸與法の眞精神を遂行してくれることを衷心より期待するものである
一、イギリス、ソ聯その他奴隷制度と戰つてゐる諸國に對する援助を促進することはアメリカの義務である、しかもこのことに西半球の運命が最終局に依存してゐるものである
一、余は嚴かに宣言する、もしヒトラーの現在の作戰計畫が成功するならばアメリカ國民は現在ソ聯戰線に現出されてゐると同樣な莫大な戰費と荒廢をともなふ戰…

對日石油禁油 知らぬと嘯くハル長官

【ワシントン九日同盟】ハル國務長官は九日の新聞記者との會見席上、英米蘭對日石油輸出停止問題、パナマ政變問題、中立法撤廢問題などに關する質問をうけ左の如く答へた
英米蘭三國が對日輸出停止に關して協定を結んだとの報道があるが、余はその種の協定が存在してゐるとは思はない、少なくとも余の關知する限りそのやうなことは知らない、パナマの革命事件については國務省は未だ具體的事實を確めるまでに至つてゐないし從つて余は右に關して論評を加へるわけにはゆかない、議會事件がパナマ運河に影響を及ぼすかといふ質問が出たが余の考へではこれは西半球防衞とは全然無關係であると思ふ、中立法の商船武裝禁止條項その他若干條項の改訂は重要且つ緊急を要する問題である、しかし中立法改訂論議進行促進のため議會の公聽會を制限することに余が贊成であるか否かは言明の限りでない

パナマ大統領ハヴァナ着

【ハヴァナ九日同盟】パナマ大統領アルヌルフオ、アリアス氏は本國に突發したクーデターのため八日午前飛行で當地に到着したと聲明する

大野政務總監 けさ首相訪問、要談

【東京支社電話】上京中であつた大野政務總監は十日午前九時四十分首相官邸に近衞首相を訪問約廿分に亘つて要談を遂げ十時十分辭去した

英米使節團 ロンドン歸還

【ロンドン九日同盟】モスコーにおける英米ソ三國會談に出席した英米使節團一行は九日ロンドンに歸還した

=人=

◇日石光治郎氏(本府北京派遣員) 十日『あかつき』で入城
◇池田林儀氏(元本社主筆) 同上朝鮮ホテルへ
◇石渡信太郎氏(仁川警察署長) 新任挨拶のため十日本社へ

時の録音

東では鄭州占領、西ではモスコーへの大攻擊前進。足並揃へた樞軸陣。
×
天道に反く者は亡ぶとの孫道(?)軍當局の訓戒。蔣君も秋風と共に身に沁みる事だらう。
×
それにしてもルーズヴェルト君、早くしないと援助も間に合ひませんよ。
×
皆勞へ全鮮總起ち。街に田園に美談佳話の大氾濫。この意氣を忘れるな。
×
けふから京城神社の大祭典。健全なる身體と共に健全なる精神を忘るるな。

文化

秋の天上風景【下】

挾間文一

【京城醫學專門學校教授】

天馬星の正方形の北東に五つの輝星が大きなWを描いてゐるのは小學生でも苦もなく目に映る。之が誰も知るカシオペイアで、内地では一般に山形星と呼び、筆者の郷里では『碇星』と呼ぶ。カシオペイアは北極星を挾んで北斗七星と對蹠的な位置にある。北斗七星が北天の大時計であると同様に、カシオペイアも亦時計の役目を勤めてゐる。カシオペイアは九月廿一日秋分の夜の十二時に眞北の天上に昇る。そして北極星を廻つて翌日の夜十二時に再び元の位置に復歸する。しかし此の時は四分だけ進んだ位置に來るのである。此の進行を知つてゐれば、簡單に夜の時刻を判斷する事を得る。晩秋の宵空には北斗七星を容易に……

……感じてゐたが、一昨年の七月末火星大接近の際、東京の後藤光學研究所に行つて望遠鏡を覗き、火星を擴大に望み得たのである。運河といはれる條は明瞭に認め得なかつたが、極冠と名づける極の氷はかすかに認め得た。夏になれば氷が減し海の緣が廣くなり、其他綠色の植物帶が現れるといふことである。

夜が次第に更けて來れば、火星の下から土星が上つて來る。之は一等星ほどの光輝はあるが、どんよりして肉眼星としては失望させられる。土星の觀物は何といつても例の素晴らしい環である。金の環が金の球を緩めて斜に嵌まきながら廻つてゐる姿は、何といふ奇觀であらう。これを望遠鏡下に見ない人は……

……ら木星が昇る。木星は今の輝星シリウスと共に夜空の花形役者といつてもよい。輝星に乏しい秋の夜空に火星と共に光彩を添へてゐる光は沈靜と威嚴を保ち、實に名隣らしい。一般遊星の進行位置として光は著るしく據つてゐる。木星は土星と共に外遊星で太陽の周圍を公轉してゐるので、日々東方へ移動してゐる。木星は太陽を一公轉するのに十一年三百十五日、即ち約十二年を要するが、土星は約三十年を要する。從つて東方へ進行する速度は土星は木星に比し緩慢である。一昨年の夏木星は土星に遅れてゐたが、昨年の冬は略同一の場所に並び、今ではずつと土星を凌いでゐる。年が換る毎に木星や土星等外遊星の位置が變り又一定の週期を以て金星や水星の様な内遊星が明けの明星になつたり、宵の明星になつたりして、自然界の變化を見せてくれる事は研究室裏に日々單純な生活をしてゐる筆者にとつてはこよなき慰安である。

最近科學の進歩に伴ひ、次第に素人天文學者の増加した事は慶ぶ可き現象で、基礎醫學者もこの天文學の領域に侵入し、最近高田氏反應で名高い高田博士も台北で日蝕の時、氏の考案にかゝる血清反應を利用して太陽エネルギーの第四線の存在を説明したといはれる。筆者は太陽の放射線が藥理作用に及ぼす影響に關し、數年來研究を進めてゐるが、先般日蝕時の太陽の放射線が光りに最も敏感なアドレナリンの藥理作用に及ぼす影響を檢し、興味ある結果を得たが、之は後日發表する事とする。

明滅燈　カメラの意識

朝鮮映畫のクランクをしてゐて感じることは、俳優の動作が非常に大まかなことで、これは一般……

カメラを無視して大きく動き過ることもある。内地の俳優はこの點心得たもので、決して腰をはづした身振りはしない。その點少し芝居しすぎるといふことにもなるが、カメラマンとしては相互的な仕事である……

不二 接續線　父と娘

鯖の栄養價

新刊紹介

下腹部に固まり

お宅のお台所に　――無駄があります　勿體ない話ではありませんか

生節と茄子の含め煮

烏賊を調理する時

新映畫評　明治調濃き　男の子ある情　大寶映畫作品

演藝協會に新胎動の兆

放送番組

移動劇團の問題【上】

須田靜夫

京日俳壇　高濱虛子選

秋季雜詠

母子草（一）

三國志【628】

吉川英治（作）　矢野橋村（畫）

『あつ、さうだ！』
曹操は、突然鞍を打つて突つ立ちながら、
『忙に紛はれ、些末に拘泥してをつて、つい大局を見失つてゐた。荀攸つ、なぜ其方は、もつと早く余に注意しなかつたのだ』
『――でも當の敵を、お忘れある筈はないと思つてゐましたから』
『ばかを云へ。かう忙しくては、誰しもつい忘れる事だつてある。早く軍馬の用意を調へ、文醜を追撃させい』
『御命令さへ出れば、決してまだ手遲れではありません。文醜は數萬の敗兵を連れてゐるので、一日の行程わづか十里といふ歩み方です。驍騎數千、疾風のごとく追はせれば、おそらく二日のうちに捕捉することができませう』
荀攸はすぐ諸大將を帳の内廳に集めた。令を下すべく曹操が立つて見わたすところ、冀州の降臣中では、ひとり文聘の姿だけが見えなかつた。
『なぜ文聘はこれへ來ないか』
と、呼びにやると、漸く文聘は……